

平成12年(2000年)10月21日(土曜日)

世界日報

The Sekai Nippo

日韓首脳

アジア欧州会議(ASEM)関係筋によると、森喜朗首相と韓国の金大中大統領は二十日のASEM首脳会合昼食会で、日本と韓国間の海底鉄道トンネルの建設を提案した。シベリア横

断鉄道を延長する形で、朝鮮半島の最南端から九州の間に世界最長百八十キロの海底トンネルを敷設する計画。日本政府当局者によると、各国首脳は同提案を歓迎したという。

海底トンネル建設提案**シベリア横断鉄道にリンク**

金大統領は「日本と韓国間の海底トンネルが建設できたら、日本、アジア、欧州をつなぐ鉄道が誕生する」と指摘。森首相も「問題は資金だが、大きな関心を持っている」と応じ、最終的には欧州と日本が鉄路でつながれるため、「ASEM鉄道」と命名したいとの意向を表明した。

日本政府筋によると、森首相と金大統領は九月の同大統領訪日時に海底トンネルの計画について初めて話し合ったという。

(ソウルAFP時事)